

学校関係者評価委員会

日本こども福祉専門学校 学校関係者評価委員会は、令和7年度学校自己評価の結果に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

1. 開催日時 令和8年5月27日（水）13：30～14：30
2. 場 所 日本こども福祉専門学校 402教室
3. 出 席 者

役職	所属	氏名	出欠席
委員長	日本こども福祉専門学校 学校長	井口 明彦	出席
外部 評価委員	ニフイスこども園 園長	高崎 恭子 様	出席
	株式会社星光堂薬局	佐藤 学 様	出席
	株式会社ココカラファイン	佐藤 安珠美 様	欠席
内部 評価委員	日本こども福祉専門学校 こども保育学科 学科長	三原 英美子	出席
	日本こども福祉専門学校 くすり総合学科 学科長	佐々木 春奈	出席
	日本こども福祉専門学校 事務局長	長谷川 美佳	出席
書記	日本こども福祉専門学校 教員	高橋 萌香	出席
		飯野 由紀子	出席

4. 次第 進行：長谷川

プログラム	担当
(1) 委員長挨拶	井口学校長
(2) 出席者紹介	事務局長 長谷川
(3) 学校関係者評価 趣旨説明	事務局長 長谷川
(4) 自己評価結果に関する報告及び意見交換 (保育、くすりに分かれて) .. 10分	【保 育】 三原 -高崎様（高橋） 【くすり】 佐々木-佐藤様（飯野）

プログラム	担当
(1) 委員長挨拶	井口学校長
(5) 振返り	三原、佐々木

令和7年度自己点検評価

日本こども福祉専門学校学校

評価項目	評価者
1. 学校の教育目標	学校長
2. 学校運営	学校長
3. 教育活動(こども保育学科)	こども保育学科長
3. 教育活動(くすり総合学科)	くすり総合学科長
4. 学生支援(こども保育学科)	こども保育学科長
4. 学生支援(くすり総合学科)	くすり総合学科長
5. 教育実施組織	事務局長
6. 教育環境	事務局長
7. 教育活動の基盤	事務局長

1. 学校の教育目標

自己評価

適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

建学の精神は定められているか。		
現状	適切に定めている。	[評価] 3
今後の課題	—	
各学科における職業教育の特色は何か明確になっているか。		
現状	明確になっている。	[評価] 3
今後の課題	—	
社会のニーズ等を踏まえた学校として改善ができているか。		
現状	対応できている。	[評価] 3
今後の課題	—	
教育の目的特色・育成する学生像などが学生に周知がなされているか。		
現状	育成する学生像が明確になっていない。	[評価] 1
今後の課題	育成する学生像の設定。	
各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材を明確にしているか。

現状	職業種が決まっているため、目的や目標は明確になっているが、それ以上の設定はない。	[評価] 3
今後の課題	どんな保育士、登録販売者なところまでの具体化。	

2. 学校運営

自己評価

適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

目的に沿った運営方針が策定されているか。		
現状	適切に策定している。	[評価] 3
今後の課題	—	
運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。		
現状	有効に機能している。	[評価] 3
今後の課題	—	
人事、給与に関する規定等は整備されているか。		
現状	適切に整備している。	[評価] 3
今後の課題	—	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。		
現状	適切に整備している。	[評価] 3
今後の課題	—	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

情報システム化等による業務の効率化が図られているか。		
現状	効率化できている。	[評価] 3
今後の課題	—	

3. 教育活動(こども保育学科)

自己評価

適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか。		
現状	職業人としての目的・目標に沿ったカリキュラム編成は行われているが、学校の目的・目標との相関性はない。	[評価] 2
今後の課題	学校として目的・目標を明確化していく。	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。		
現状	適切に編成されている。	[評価] 3
今後の課題	—	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。		
現状	実施している。	[評価] 3
今後の課題	—	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。		
現状	明確になっている。	[評価] 3
今後の課題	—	

関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか。		
現状	適切に行われている。	[評価] 3
今後の課題	—	
授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか。		
現状	実習・就職以外での関連分野との連携が弱い。	[評価] 2
今後の課題	関連分野との連携を図り、より質の高い教育を目指していけるようにする。	
授業評価の実施・評価体制はあるか。		
現状	各教員ごとに行っている。	[評価] 2
今後の課題	共通の体制を作り、専任・非常勤を含め学科全体で取り組んでいく。	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。		
現状	取り入れている。	[評価] 3
今後の課題	—	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。		
現状	明確になっている。	[評価] 3
今後の課題	—	

学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか。

現状	要請機関として必要な卒業認定方針を定め、それに基づいた認定はしているが、学校の目的などとの相関性はない。	〔評価〕 2
今後の課題	学校としての目的などとの相関性を持たせる。	

資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。

現状	適切に行っている。	〔評価〕 3
今後の課題	—	

就職率の向上が図られているか。

現状	適切に行っている。	〔評価〕 3
今後の課題	—	

資格取得率の向上が図られているか。

現状	適切に行っている。	〔評価〕 3
今後の課題	—	

退学率の低減が図られているか。

現状	低減に努めているが、退学率が高い。	〔評価〕 2
今後の課題	退学率の低減を図る。	

卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。		
現状	把握している。	[評価] 3
今後の課題	—	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。		
現状	活用している。	[評価] 3
今後の課題	—	
卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。)についての目標を定め、その目標が達成できているか。		
現状	達成できている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか。		
現状	達成できている。	[評価] 3
今後の課題	—	

3. 教育活動(くすり総合学科)

自己評価

適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか。

現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。

現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。

現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。

現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか。

現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか。		
現状	適切に行っている。	〔評価〕 3
今後の課題	—	
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか。		
現状	適切に行っている。	〔評価〕 3
今後の課題	—	
授業評価の実施・評価体制はあるか。		
現状	個別でのみ行っている。	〔評価〕 2
今後の課題	より効果のある評価方法を取り入れる。	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。		
現状	適切に行っている。	〔評価〕 3
今後の課題	—	

成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
就職率の向上が図られているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
資格取得率の向上が図られているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

退学率の低減が図られているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

4. 学生支援(こども保育学科)

自己評価

適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

入学者の受入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定しているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか。		
現状	適正に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報を正確に伝えられているか。		
現状	伝えている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学生納付金は妥当なものとなっているか。		
現状	妥当である。	[評価] 3
今後の課題	—	

学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。		
現状	適切に周知、運用している。	[評価] 3
今後の課題	—	
カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか。		
現状	教員が個別に対応している。	[評価] 2
今後の課題	配置・設置に関して学校全体として検討していく。	
学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。		
現状	適切に周知、運用している。	[評価] 3
今後の課題	—	
学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか。		
現状	適切に運用している。	[評価] 3
今後の課題	—	
課外活動に対する支援体制は整備されているか。		
現状	整備している。	[評価] 3
今後の課題	—	

学生の生活環境への支援は行われているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
保護者と適切に連携しているか。		
現状	連携している。	[評価] 3
今後の課題	—	
卒業生への支援体制はあるか。		
現状	学科として体制化はしていないが、個別に対応している。	[評価] 2
今後の課題	体制化への必要性も含めて検討していく。	
留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。		
現状	整備している。	[評価] 3
今後の課題	—	

高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。

現状 行っている。

今後の
課題

—

〔評価〕
3

関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか。

現状 実施していない。

今後の
課題

各施設からの意見も踏まえ、検討していく。

〔評価〕
1

4. 学生支援(くすり総合学科)

自己評価

適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

入学者の受入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定しているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか。		
現状	適正に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報を正確に伝えられているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学生納付金は妥当なものとなっているか。		
現状	妥当である。	[評価] 3
今後の課題	—	

学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。		
現状	適切に周知、運用している。	[評価] 3
今後の課題	—	
カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか。		
現状	カウンセラーの配置や相談室の設置は行っていないが、学生の相談に対応するための対策は行っている。	[評価] 2
今後の課題	必要に応じてカウンセラーの配置や相談室の設置を検討したい。	
学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。		
現状	適切に周知、運用している。	[評価] 3
今後の課題	—	
学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか。		
現状	適切に運用している。	[評価] 3
今後の課題	—	
課外活動に対する支援体制は整備されているか。		
現状	整備している。	[評価] 3
今後の課題	—	

学生の生活環境への支援は行われているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
保護者と適切に連携しているか。		
現状	連携している。	[評価] 3
今後の課題	—	
卒業生への支援体制はあるか。		
現状	支援体制を整えている。	[評価] 3
今後の課題	—	
留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。		
現状	整備している。	[評価] 3
今後の課題	—	

高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。		
現状	行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

5. 教育実施組織

自己評価

適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用しているか。		
現状	適切に運用している。	[評価] 3
今後の課題	—	
学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めているか。		
現状	定めている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
1－2職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っているか。		
現状	行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っているか。		
現状	行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	

6. 教育環境

自己評価

適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えているか。		
現状	備えている。	[評価] 3
今後の課題	—	
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。		
現状	学内外の実習施設は十分に確保できている。	[評価] 2
今後の課題	インターンシップ・海外研修等は必要に応じて検討していく。	
学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか。		
現状	学校施設・設備の点検や災害時の避難訓練の計画等は実施できている。	[評価] 2
今後の課題	警察、地域、家庭と連携	
防災に対する体制は整備されているか。		
現状	整備できている。	[評価] 3
今後の課題	—	

7. 教育活動の基盤

自己評価

適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか。

現状	確立できている。	[評価] 3
今後の課題	—	

学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)

現状	適切に行われている。	[評価] 3
今後の課題	—	

予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。

現状	妥当なものとなっている。	[評価] 3
今後の課題	—	

財務について会計監査が適正に行われているか。

現状	適正に行われている。	[評価] 3
今後の課題	—	

財務情報公開の体制整備はできているか。

現状	できている。	[評価] 3
今後の課題	—	

法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。		
現状	年2回開催している。	[評価] 3
今後の課題	—	
学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表しているか。		
現状	公表している。	[評価] 3
今後の課題	—	
学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか。		
現状	適切に行っている。	[評価] 3
今後の課題	—	
当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか。		
現状	公表している。	[評価] 3
今後の課題	—	